

平成31年度 学校経営方針

小平市立小平第二中学校 校長 阿部 善雄

<目指す学校像>
「生徒に自信をつける」
 生徒・教職員・保護者・地域住民が誇れる
「二中プライド」を確立させる

<学校教育目標>

- 自ら考え正しく判断し、積極的に実践する人間
- 明るく健康で、情操の豊かな人間
- 社会の一員として、協力し、向上に努める人間
- 相手の人格や立場を尊重する人間

**小中連携型
コミュニティ・スクール**

平成31年4月1日より小平市教育委員会より「学校経営協議会を置く学校」の指定を受けた。小平市内で初の試みである小中連携型の学校経営協議会をさらに発展させるべく、関係小学校との連携を密に経営にあたる。

地域コミュニティの中心になるべく地域住民や関係小学校への保護者への情報発信を充実させ9年間をとおした教育活動を充実させる。

本校にかかわる多くの地域住民や保護者が、本校生徒や小平第二中学校の学校経営にかかわることで、喜びや生き甲斐を感じていただけるような学校・教職員でありたい。

<学校経営の基本的な理念 「和 輪 話」>

学校経営の目的は、一言でいえば教育目標の達成である。「教育は人なり」と言われるように学校の教育活動の成果をあげるためには、全教職員の組織を通しての協力が必要であり、何をするにも「人の和を図る。」ことが大切である。教育はチーム力であり、学校が安定し、まとまって動くには人間関係の円滑な運営に優るものはない。同じ職場に巡り会ったこの出会いを大切に、明るく楽しい、しかも意欲と活気に満ちた学校にしたい。そのために、お互いの良さを認め合い、温かく補い合って組織体の一員としての機能を十分に発揮できるようにする。仕事の厳しさの中にも協力的な温かい人間関係をつくっていくよう全職員で意識し、些細なことから実行していく。

教育目標達成のための取組

教員がプライドをもって働ける環境づくり

教員へのサポート体制づくり

- ・ 学校支援ボランティア
- ・ 学生ボランティア
- ・ スクールサポートスタッフ 等の活用

(1) 授業改善

- ① 毎日の授業を大切にする。
 - ・ 時間を守る・日々の教材研究
 - ・ 分かりやすい板書や発問
- ② 少人数グループによる学び合い活動を計画的に取入れる。
 - ・ 研究推進校としての研究実践
- ③ 「はい。立つ。です。」の指導の徹底
- ④ ・ 英語科・数学科で指導方法工夫

(2) 生活指導

- ① 生徒理解に努め、指導の徹底を期す。
 - ・ 物事の善悪を曖昧にしない
 - ・ いじめは絶対に許さない
 - ・ SNS等の使い方の指導・啓発
- ② 部活動の充実
 - ・ 生徒の自主的な活動を支援する
 - ・ 達成感や成就感を経験させる
- ③ 生徒会活動の充実
 - ・ 生徒主体の学校行事や委員会活動
 - ・ 所属意識の醸成を図る

(3) 進路指導

- ① キャリア教育の充実
学校支援ボランティアとの連携による福祉体験・職業体験等の実施
- ② 年間2回の三者面談の実施
 - ・ 卒業後の進路について
 - ・ 日常生活の充実について
- ③ 生徒の適性・能力の適正な把握
 - ・ 個にあった進路指導の実践
 - ・ 生き方を考えさせる指導の充実

(4) 地域連携&小・中連携教育

- ① 六小・十三小・十五小との連携推進
 - ・ 学習・生活面、地域の教育課題
- ② 顔の見える職員間の交流
 - ・ 「教育観、指導観」の共有化
 - ・ 小中連携教育（年3回）
 - ・ 「道徳」授業（11月）

(5) 心身の健康

- ① 学校行事等とおして感動を共有し所属意識の醸成を図る
- ② 食育の推進
日常生活における食育指導の充実
- ③ 生命尊重の精神の育成
「特別の授業 道徳」等の充実
- ④ 不登校生徒の対応
家庭・あゆみ教室・SC、SSW・関係機関との連携

(6) 環境整備と防災教育

- ① 毎日の安全点検の実施
施設点検票を活用した修理、修繕を迅速に行う。
- ② 毎日の清掃活動の充実
四隅を留めた掲示物
職員も生徒と一緒に掃除にあたる。
- ③ 毎月の充実した避難訓練の実施
全員が緊張感をもって取り組む。

(7) 校内研修

- ① 4人組の学びあいを活用し、主体的・対話的で深い学びの実現を図る。
- ② 一人ひとりの授業改善を目的に全及び学年研修会の計画的に実施する。
- ③ 今まで本校が行った取組をまとめた二中スタンダードを作成し家庭学習も含めた学力向上の取組を行う。

(8) 特別支援教育

- ① 校内委員会（週1回）の充実
- ② 特別支援教育の視点での授業改善
 - ・ 板書、掲示物・発問等の工夫
 - ・ ホワイトボードの活用等
- ③ 通常学級と特別支援学級との交流の推進
 - ・ 障がい者を正しく理解し、障がいの有無に関わらず共に生きる態度を養う。

(9) 学校事務

- ① 校内予算の効率的な執行
- ② 各分掌・主任との円滑な連携
- ③ 光熱費及び消耗品の管理と節約
月ごとの実績に基づき改善
- ④ 学校環境の整備
- ⑤ 提出書類等の期限の厳守
- ⑥ 法令遵守及び服務規律の徹底
- ⑦ 私費会計の記録様式の統一管理